

～ 三菱電機2006年『省エネに関する意識調査』～

主婦の省エネ意識、西高東低ぞみ！

夏場のエアコン設定温度は、関東25 関西28 で3度も差が
 「省エネ大賞」をあげたい有名人は、「松居一代さん」が第1位

2006年5月31日

ルームエアコン霧ヶ峰「ムーブアイ」事務局

三菱電機ルームエアコン霧ヶ峰「ムーブアイ」事務局は、省エネ対策と大きな係わりを持つ6月5日の「世界環境デー」に先立ち、関東地区・関西地区に在住の主婦500名を対象に、「夏の省エネに関する意識調査」を実施しました。昨年開始された、地球温暖化防止のための国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」が推奨するクールビズなど、身近な話題として「温暖化防止・省エネ」への関心が一層高まっています。その中でも、家庭における「省エネ」の重要性が改めて認識されており、今回は、家庭において大きな役割を担う主婦に着目し、省エネに対する意識やイメージなどを調査したところ、興味深い結果が得られましたのでご報告いたします。

< 調査概要 >

調査対象 : 関東地区(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)、関西地区(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)に在住の20～60代主婦
 サンプル数 : 500名 (関東地区・関西地区 各250名 / 地区ごとの年代別各50名)
 調査方法 : インターネット・アンケート調査
 調査主体 : ルームエアコン霧ヶ峰「ムーブアイ」事務局
 調査期間 : 2006年5月13日～5月15日

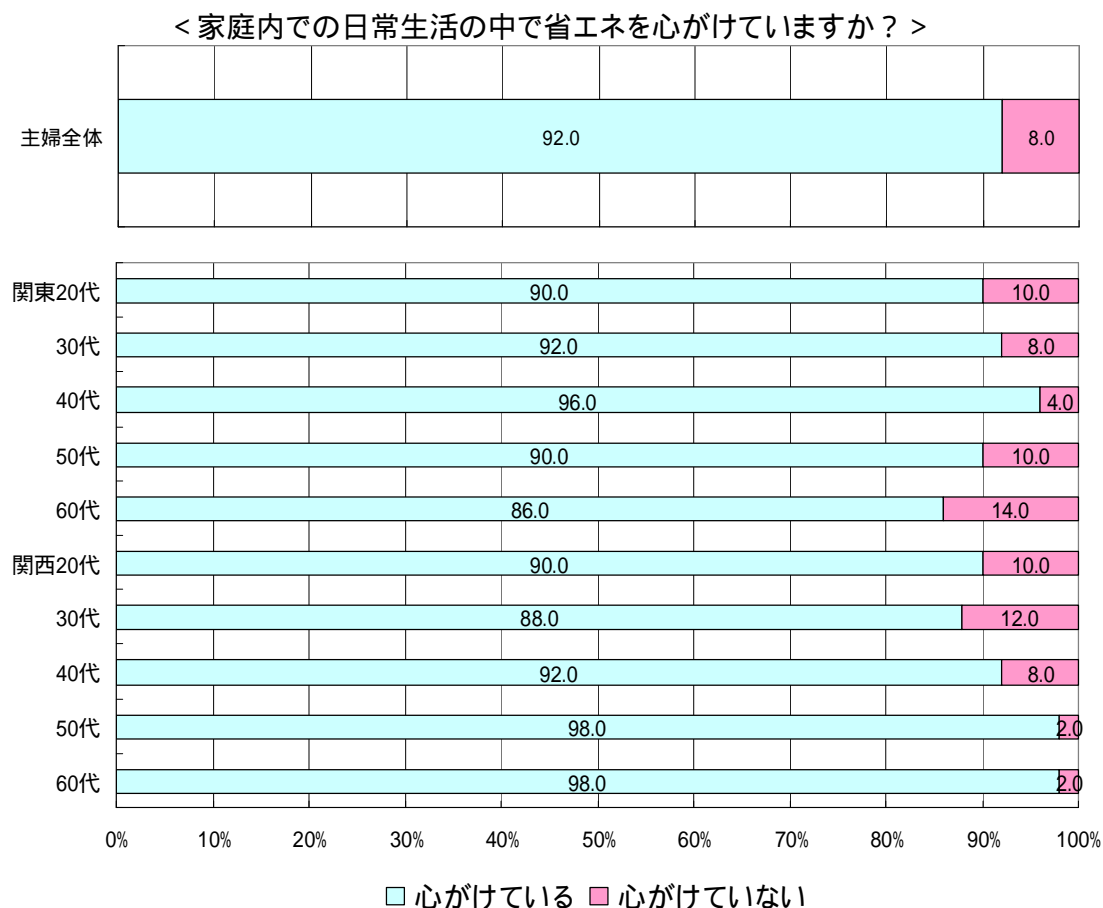
< 目次 >

世代・地域を問わず高い主婦の省エネ意識 9割が心がけ	1P
省エネを心がける理由は、全体で「節約」がトップ、関西では「環境」意識も高め	1・2P
家庭内で心がける省エネ努力の換算金額イメージは、月3,000円未満 地域問わずフルタイム主婦は省エネ努力に自信あり	3P
夏場の我慢できる温度は28 が目安、関西では1割が29 以上でも我慢	3P
夏場のエアコン最多設定温度は、関東25 、関西28 と東西で3度も差が！	4P
夏場のエアコン温度設定の主導権は、8割が主婦にあり	4P
夏場の我が家の省エネ自慢、 関西は伝統派「すだれ・よしず」、関東はモダン派「カーテン・ブラインド」の活用	5P
エアコン夏場の主婦の不満は、関西「ランニングコスト」、関東「寝冷えが心配」	5P
最も省エネ機能が欲しい家電は、「冷蔵庫」、「エアコン」の順	6P
これからも省エネにこだわるのは、世代・地域問わず9割以上！	6P
主婦が「省エネ大賞」をあげたい有名人第1位は、「松居一代さん」	7P

世代・地域を問わず高い主婦の省エネ意識 9割が心がけ

6月5日の「世界環境デー」に先立ち実施した今回の意識調査から地域・世代を問わず約9割が省エネを心がけているという回答があり、主婦の省エネ意識の高さが浮き彫りとなりました。

関東では、40代主婦の96.0%、関西では50代、60代主婦の98.0%という回答がそれぞれの地域で最も高いものとなっています。



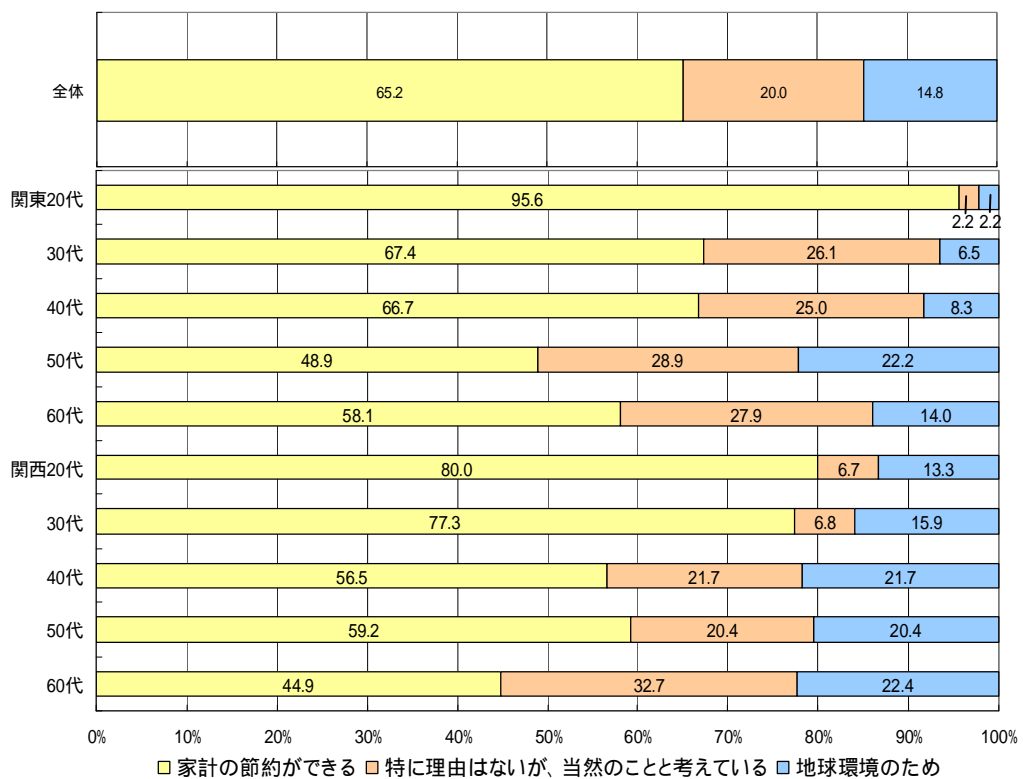
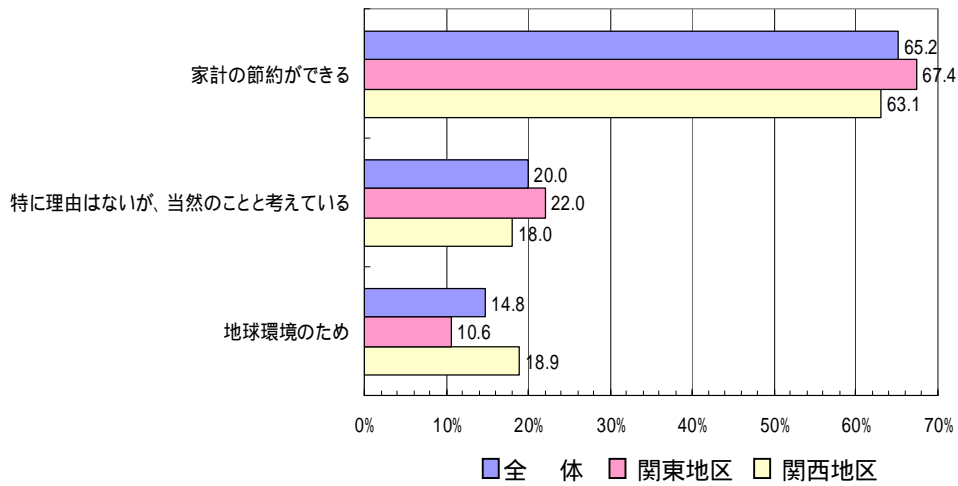
省エネを心がける理由は、全体で「節約」がトップ、関西では「環境」意識も高め

心がけていると答えた主婦に省エネの理由を聞いたところ、全体の6割以上が「家計の節約ができる」と回答しています。また関西の主婦は「環境のため」と18.9%が回答しており、関東の10.6%と比べて環境意識の高さが目を引きます。

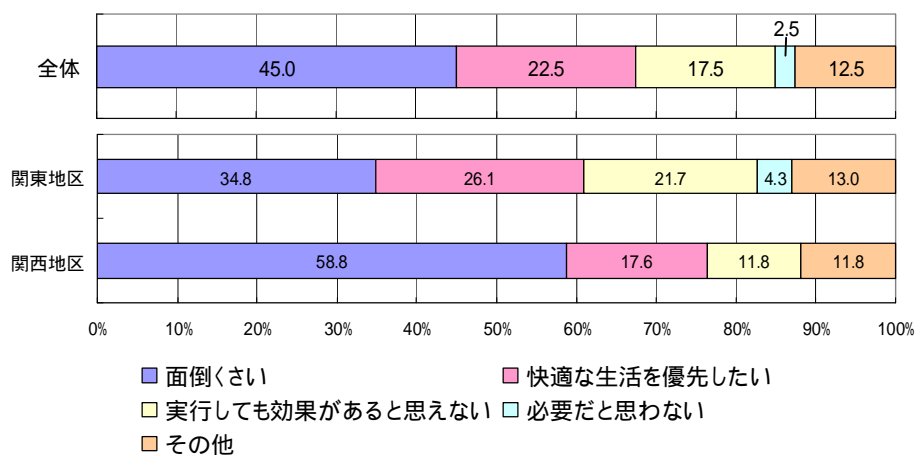
なお、世代別では20～30代主婦層の方が、若年子育て世代であり出費も多いためか、「家計節約のため」との回答比率が関東20代95.6%、関西20代80.0%と30代・40代など、他世代よりひととき高くなっています。逆に年代が高いほど、環境意識が高い傾向があります。

一方で心がけていない主婦のうち、「面倒くさい」と回答しているのは関東で34.8%、関西では半数以上の58.8%で、関西が関東に比べてかなり高いものとなっています。

< 日常生活の中で省エネを心がける一番の理由は？ >



< 日常生活の中で省エネを心がけていない理由は？ >

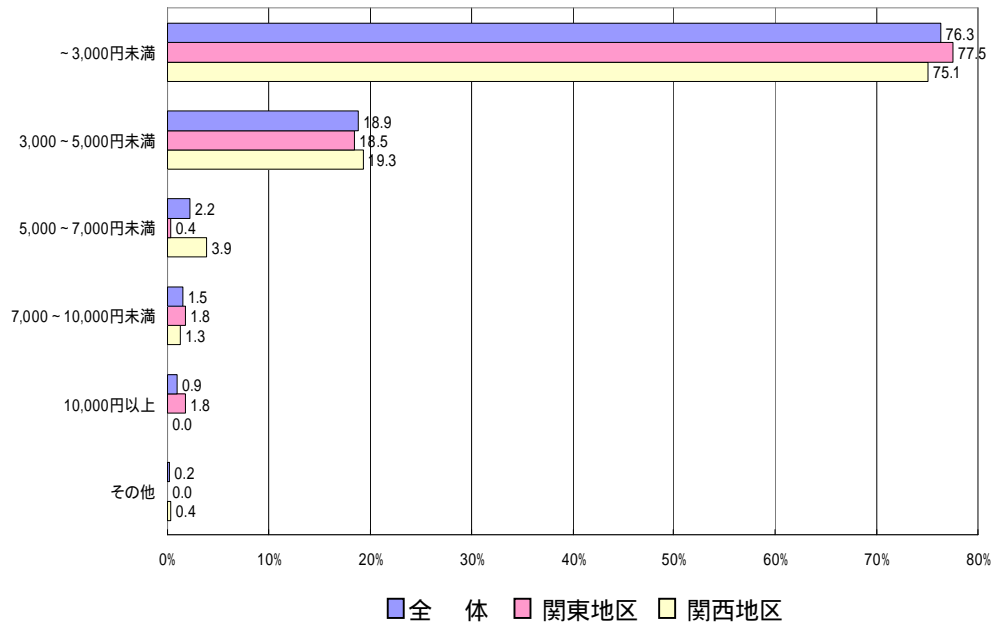


家庭内で心がける省エネ努力の換算金額イメージは、月3,000円未満

地域問わずフルタイム主婦は省エネ努力に自信あり

家庭内で省エネ努力をした結果を金額に換算するといくらになるかたずねたところ、主婦全体では「3000円未満」と答えた主婦が76.3%と最も多く、次に多い「3000円以上5000円未満」と答えた主婦の18.9%を大きく引き離す結果となりました。しかし、「3000円以上5000円未満」と答えた主婦の中でも、フルタイムで働く主婦は、東西ともにパートタイム主婦・専業主婦に比べ高い割合を示し、節約金額への自信がうかがえます。(関東:フルタイム 26.1% パートタイム 14.3% 専業 18.7%、関西:フルタイム 41.4% パートタイム 17.8% 専業 15.7%)

<あなたが家庭内で心がけている省エネのための努力は、金額に置き換えると月にどの位に相当すると思いますか？(イメージでお答え下さい)>

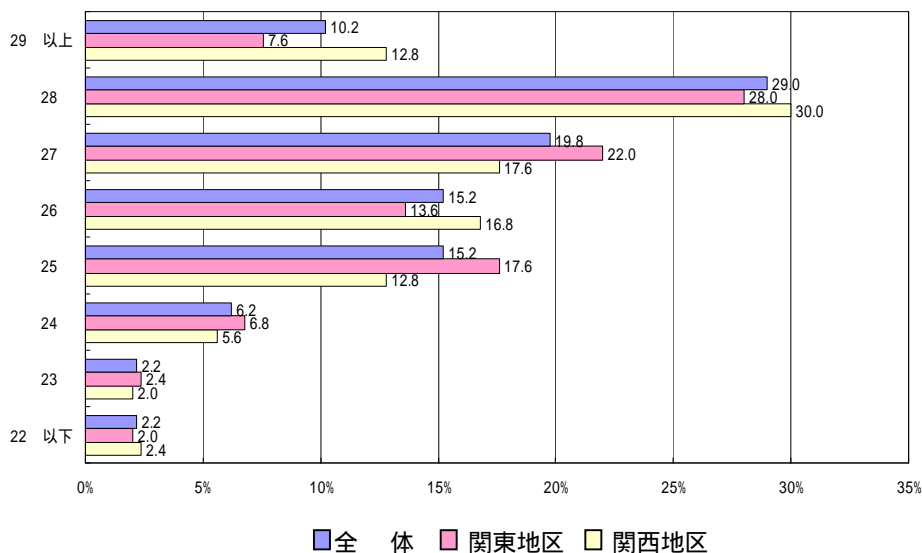


夏場の我慢できる温度は28 が目安、関西では1割が29 以上でも我慢

夏場の我慢できる室内温度についてたずねたところ、全体では「28」をあげた人が29.0%と最も多く、関東の主婦では28.0%、関西の主婦では30.0%という結果となりました。

さらに関西では、12.8%の主婦が29 以上の温度を我慢できると答えており、1割の人が29 以上の暑さでも我慢していることになります。

<あなたのお住まいで夏場の暑さで我慢できる室内温度は何度くらいですか？>

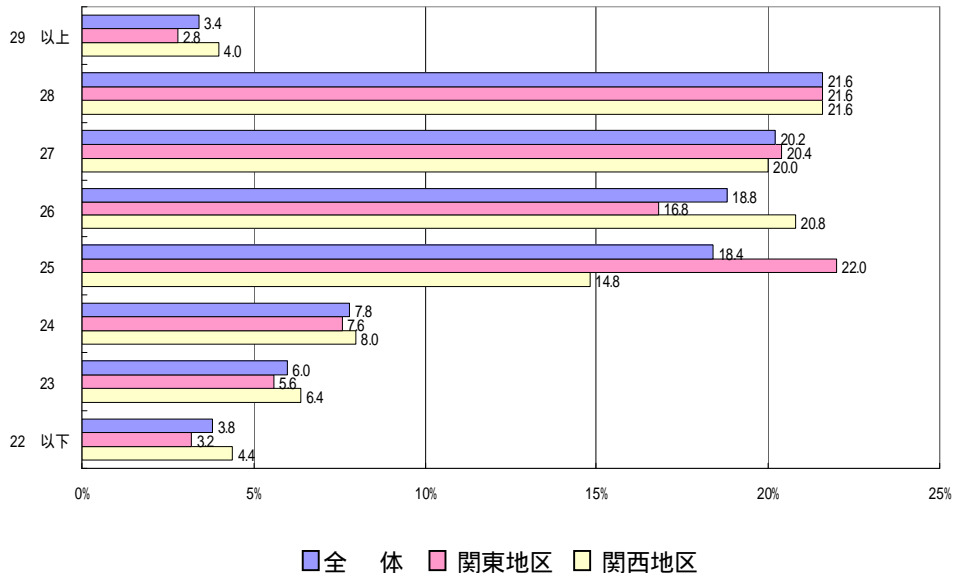


夏場のエアコン最多設定温度は、関東25、関西28と東西で3度も差が！

夏場のエアコン設定温度は、全体では省エネ目標温度となっている「28」との回答が21.6%と最も多く、次いで27が20.2%となっています。しかし地域別で見ると、関東では設定温度25と回答した主婦が最も多く22.0%もあり、それに対し関西の主婦は28との回答が21.6%と最も多く、関西の主婦には我慢強さや省エネ意識の高さが垣間見られるようです。

また全体の約50%は、「設定温度を下げたいが省エネを考えて我慢」していると回答しています。

< あなたの家庭では夏場のエアコン設定温度は何度ですか？ >

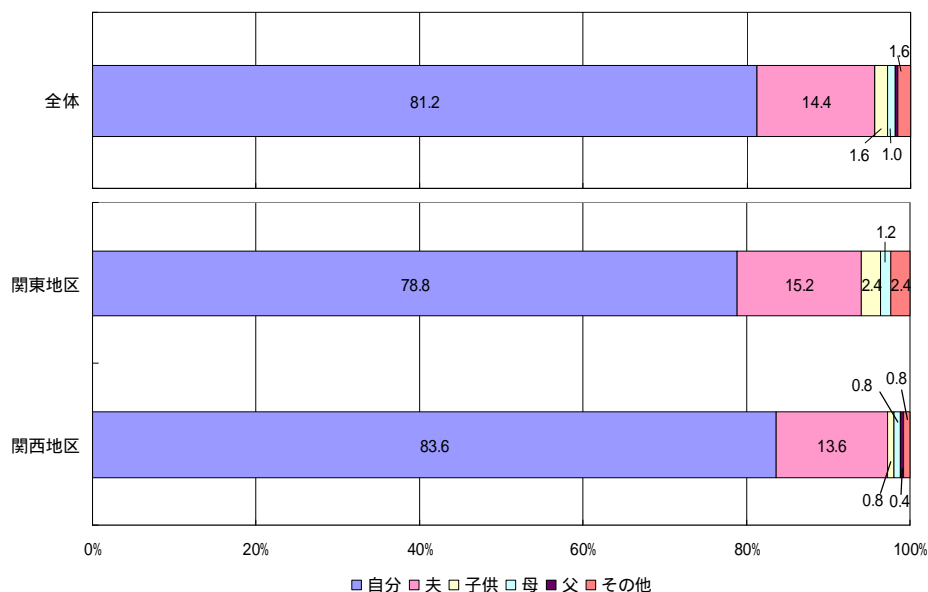


夏場のエアコン温度設定の主導権は、8割が主婦にあり

家庭内で夏場のエアコンの設定温度を決めているのは主婦自身という回答が全体の約8割にのぼり、特に関西は83.6%と、関東の78.8%に比べてより高い結果となっています。

多くの家庭でエアコンの主導権は主婦自らが握っているようです。夫と答えたのは全体で14.4%にすぎませんでした。

< エアコン(冷房時)の設定温度は主に誰が決めていますか？ >



夏場の我が家の省エネ自慢、

関西は伝統派「すだれ・よしず」、関東はモダン派「カーテン・ブラインド」活用

自由回答による夏場のエアコン以外の暑さ対策は、「風通しを良くする・窓を開ける」、「扇風機を使う・シーリングファンを回す」が全体で1、2位を占めました。続く3位には関西の主婦が伝統的な「すだれ・よしず」を、関東では現代的な「カーテン・ブラインド」を活用すると回答するなど、東西で順位が入れ替わっており、省エネ対策における好みの違いが出ています。

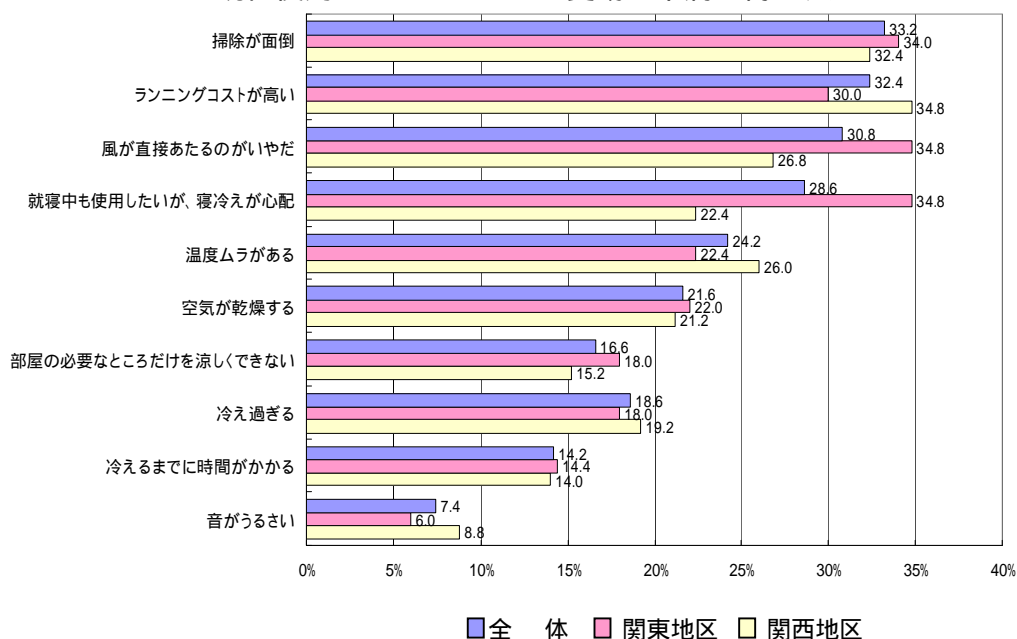
< エアコン使用以外に家庭で実践している夏場の暑さ対策は、具体的にどのようなことですか？ >

エアコンの使用以外に、家庭で実践している夏場の暑さ対策は、具体的にどのようなことですか？	全体		関東		関西	
	順位	%	順位	%	順位	%
風とおしを良くする・窓を開ける	1	27.2	1	28.0	1	26.4
扇風機を使う・シーリングファンをまわす	2	24.8	2	24.4	2	25.2
カーテン・ブラインドを閉める	3	19.6	3	23.6	4	15.6
すだれ・よしずをつける	4	17.2	4	14.0	3	20.4
エアコンと扇風機の併用	5	12.4	5	10.8	5	14.0
打ち水をする	6	9.2	6	8.8	6	9.6
うちわであおぐ	7	5.8	7	4.4	7	7.2

エアコン夏場の主婦の不満は、関西「ランニングコスト」、関東「寝冷えが心配」

現在使用しているエアコンの不満について質問したところ、関西では「ランニングコストが高い」が34.8%と最も多く、消費する電気代に対して主婦ならではの意識で厳しく見ているようです。関東では「就寝中も使用したいが寝冷えが心配」、「風が直接当たるのがいやだ」が同率34.8%で最も多い回答となり、健康や体調面での気遣いが高いことがうかがえます。

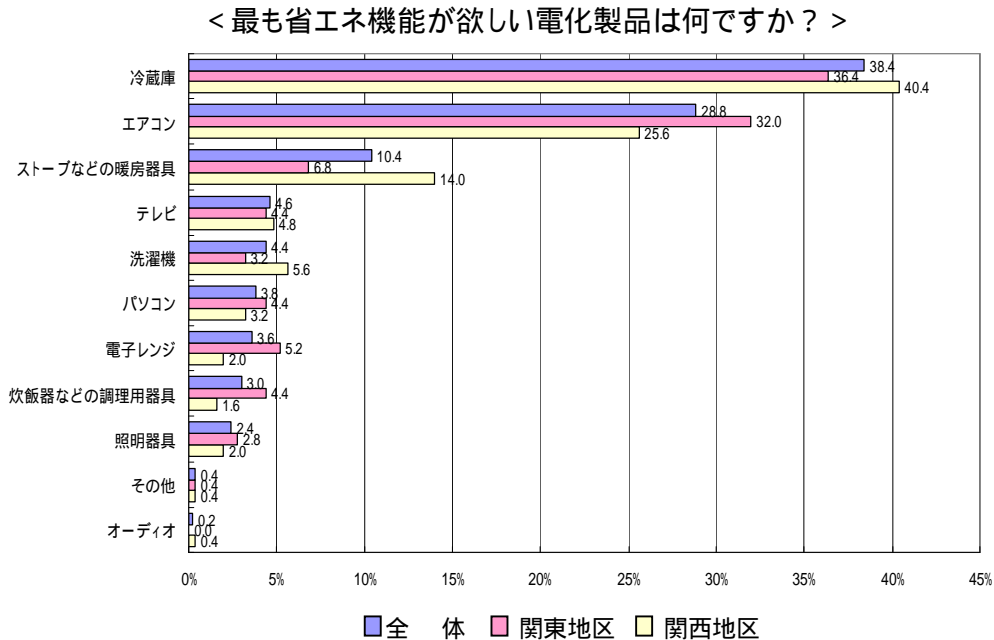
< 現在使用しているエアコンの夏場の不満は何ですか？ >



最も省エネ機能が欲しい家電は、「冷蔵庫」、「エアコン」の順

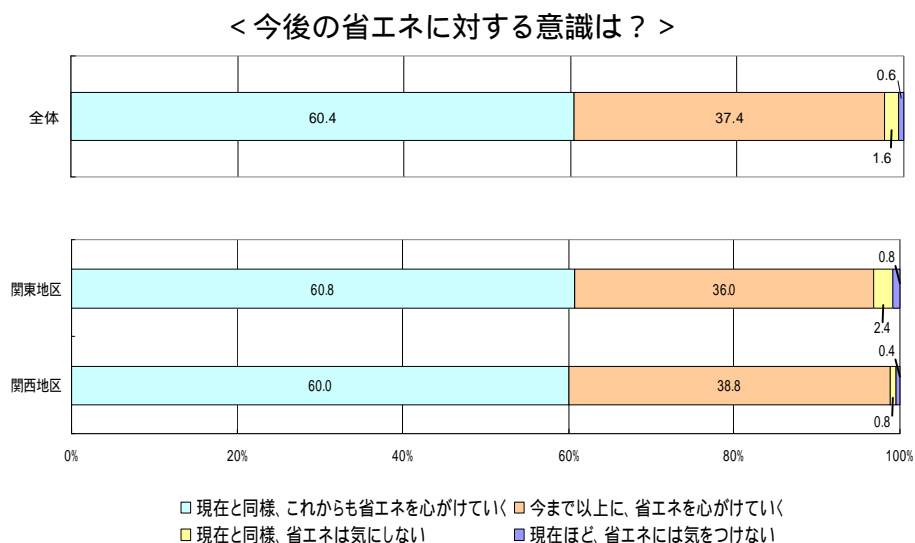
家電の中で最も省エネ機能がほしい電化製品は、「冷蔵庫」、「エアコン」の順ですが、関東の主婦の方がエアコンに対する省エネ機能を強く求めている傾向があります。（「エアコン」と答えた主婦 関東32.0%、関西25.6%）

ちなみに「省エネ大賞」については、主婦全体で知っていると回答したのは、31.4%ですが、世代が若い主婦ほど認知度が高く、節約に関する情報感度が敏感な傾向にあることがうかがえます。（20代 49.0%、30代 40.0%、40代 32.0%、50代 19.0%、60代 17.0%）



これからも省エネにこだわるのは、世代・地域問わず9割以上！

今後の省エネに対する意識を問いかけたところ、世代や地域を問わず97.8%もの主婦から「現在と同様、あるいは今まで以上にこれからも省エネにこだわっていく」との回答が得られました。中でも、積極的に「今まで以上に省エネを心がけていく」と答えた主婦は関東で36.0%、関西で38.8%にのぼり、主婦の省エネ意識の高さや継続した取り組みへの意欲が浮き彫りになりました。



主婦が「省エネ大賞」をあげたい有名人第1位は、「松居一代さん」

全体の主婦が「省エネ大賞」をあげたいと回答した有名人は、俳優の船越英一郎さんの奥様でもある女優・エッセイストの「松居一代さん」がトップ(全体13.2%、関東12.4%、関西14.0%)でした。本業の他、主婦の視点からのアイデア溢れる掃除法や収納術などの執筆、講演でも活躍していることが主婦層に広く知られているようです。

続いて「吉永小百合さん」、「小池百合子環境大臣」というのがトップ3の顔ぶれです。

この他、関東では「小泉総理大臣」が5位に入っているのが特徴で、関西では元アナウンサーで節約主婦としてTVで活躍する「橋本志穂さん」、地元出身で子育てや料理の本も執筆する「ハイヒールモモコさん」が4、5位と続いており、東西で地域性の違いも見られます。

<「省エネ大賞」をあげたいと思う、省エネを心がけているイメージのある有名人は誰だと思いますか？>

順位	全体	関東	関西
1	松居一代	松居一代	松居一代
2	吉永小百合	吉永小百合	吉永小百合
3	小池百合子	小池百合子	小池百合子
4	薬丸裕英	薬丸裕英	橋本志穂
5	橋本志穂	小泉純一郎	ハイヒールモモコ

上位5位のみ

本リリースに関するお問合せ

ルームエアコン霧ヶ峰「ムーブアイ」事務局(アクション内)

担当: 杉山、小堀

TEL: 03-3478-0913 FAX: 03-3478-0927

*本リリースに関して掲載される場合は、ご一報頂けると幸いです。